

職員による自己評価

A 環境面

- ・児童が帰宅する毎に、玩具やドアノブ等の消毒、徹底した換気を実施している。
- ・訓練室内は、視覚的な刺激をなるべく減らし、児童が集中して取り組める環境を設定している。

B 児童への支援内容

- ・療育内容に偏りがないう、職員同士で話し合いながら、子どもや保護者のニーズに合わせた支援を提供している。

C 関係機関との連携

- ・保育園や幼稚園、または保護者の希望に応じて、園訪問を実施している。
- ・療育センター等の研修に積極的に参加をしている。

D 保護者への説明責任・信頼関係

- ・契約時の運営規定については口頭で説明し、書面を渡している。
- ・オンラインシステムで活動内容のフィードバックを実施している。

E 非常対応

- ・避難訓練は年2回実施している。
- ・災害時対応マニュアルを事務室内に掲示している。

保護者による評価

A 環境面

- ・広すぎず、狭すぎずちょうどよい。
- ・常に換気をしており清潔な教室が保たれている。
- ・入口に靴を置くマークやトイレの表示があるので子どもが分かりやすい。

B 児童への支援内容

- ・個別支援計画は丁寧に計画されている。
- ・机上活動は毎回ステップアップできる工夫がされている。

C 事業所からの情報発信

- ・こまめに先生と話ができ、子どもにあった対応をしてもらっている。
- ・コロナが落ち着いたら、定期的な面談の実施と、口頭フィードバックに戻してほしい。
- ・SNSで相談できるのも助かっている。
- ・話を聞いてもらえるのは嬉しいが、それに対する助言があまりないと感じる。

D 非常対応

- ・コロナで保護を集めての説明は難しいかもしれないが、書面でももらえると助かる。
- ・年2回訓練に参加した。

E 満足度

- ・行きたくないといったことはない。
- ・幼稚園より楽しみにしている。
- ・毎週楽しみにしていて親も嬉しい。
- ・人数が増えて振替がとりにくくなっているため改善してほしい。
- ・不得意分野もあるため、どちらともいえない。

事業所内での分析

【共通点】

- ・感染症拡大防止のために、徹底した換気や消毒を行いながら、教室の清潔を保つことができている。
- ・個別支援計画に基づいてカリキュラム設定を行い、発達に合わせた支援を実施している。
- ・SNSやWebを通して活動内容の情報共有を実施することができている。
- ・児童が楽しく通所できるような工夫を行っている。

【相違点】

- ・同じ悩みを持つ保護者同士でつながる機会が欲しい。
- ・面談の機会を増やしてほしい。
- ・話を聞いてもらえることは嬉しいが、それに対する助言があまりない。

分析・検討してみても…

事業所の強み

- ・訓練室内は窓が多いため、十分な換気ができるとともに、玩具の消毒等も随時行い、常に清潔な室内を保つことができています。
- ・児童数に合わせた教室のスペース確保を行うことができています。
- ・SNS や Web を通して児童の様子や活動内容を、保護者の方と共有している。
- ・個別支援計画に基づいて、カリキュラムを設定し、児童それぞれに合わせた支援が実施できている。
- ・児童、保護者ともに当事業所に対する満足度が高い。

事業所の改善点

- ・定期的な面談の機会を設けていく必要がある。
- ・保護者への確かな助言ができるよう、職員の質の向上を図る必要がある。
- ・専門的な家庭支援プログラムを実施していく必要がある。
- ・利用日を増やして継続的な支援を受けてもらう体制を整えることが必要である。

事業所の改善への取り組み

- ・事業所内相談支援の利用を推奨し、保護者に周知していく。
- ・全職員の質の向上を図るため、研修参加の機会を増やしていく。
- ・感染症が終息し次第、家庭支援プログラム（ペアレント・トレーニング）の実施を前向きに検討していく。
- ・営業日を増やし、多くの児童を受け入れる体制を整える。

～自己評価を行っての事業所としての感想など～

今年度は、感染症拡大防止のため、事業所のご利用にあたり保護者様には多くのご協力をいただいたことで、運営を継続して行うことができました。感謝申し上げます。また、保護者様や利用児童から「満足している」「カリキュラムに工夫がなされている」等のお声をいただけたことを大変嬉しく思います。しかし、いただいたご意見の中には、改善すべき点や保護者様のご要望も多くありました。いただいたご意見を基に今後の支援に生かしていけるよう、職員で情報共有をして参ります。

事業所名 オレンジスクールピコ溝ノ口教室

担当者 高橋 優

保護者等向け児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノ口教室

保護者数（児童数）： 41(43) 回収数： 33 割合：80%

		チェック項目	はい	どちらともいえない	いいえ	わからない	ご意見	ご意見を踏まえた対応
環境・体制整備	①	子どもの活動等のスペースが十分に確保されているか	32	1	0	0	広すぎず、狭すぎずちょうどよい	引き続き利用児童が活動しやすい環境設定をおこなってまいります
	②	職員の配置数や専門性は適切であるか	33	1	0	0	そうでない方もいるので、少し気を付けてほしい	全職員が専門性の高い療育を実施できるように、定期的に研修を受講し、支援の質を高めてまいります
	③	生活空間は、本人にわかりやすい構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	27	1	0	3	入口に靴を置くマークやトイレの表示がされているので、子どもが分かりやすい	引き続き、利用児童が分かりやすい視覚表示を行ってまいります
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	33	0	0	0	清潔に保たれているので、安心して	感染症拡大防止に努め、今後も清潔な環境設定を行ってまいります
適切な支援提供	⑤	子どもと保護者のニーズや課題が客観的に分析された上で、児童発達支援計画が作成されているか	33	0	0	0	・丁寧に計画されている ・よく話を聞いてくれる	今後もご家庭の要望や利用児童のニーズに合わせた支援計画を作成してまいります
	⑥	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援(本人支援及び移行支援)」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	29	2	0	2	・丁寧に計画されている	ご家庭に分かりやすい支援内容の設定を行ってまいります
	⑦	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	33	0	0	0		引き続き支援計画に合わせた支援を実施してまいります
	⑧	活動プログラムが固定化されないよう工夫されているか	31	2	0	0	机上活動は毎回ステップアップできる工夫がされている	児童の発達段階に合わせたカリキュラム設定を行いながら、固定化しないプログラムを立案してまいります
	⑨	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	必要9	8	不必要12	2	幼稚園に通っているため、求めている	状況が落ち着いたら前向きに検討してまいります
	⑩	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明がなされたか	33	0	0	0	契約時に説明してもらえた	今後も丁寧な説明に努めてまいります
	⑪	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら、支援内容の説明がなされたか	33	0	0	0		
	⑫	保護者に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)が行われているか	22	3	3	2		児童への支援のみならず、保護者(家庭)支援も実施できるような体制を整えてまいります
	⑬	日頃から子どもの状況を保護者と伝えあい、子どもの健康や発達の状況、課題について共通理解が出来ているか	31	2	0	0	・こまめに先生と話ができ、子どもに合った対応ができている ・面談の頻度をもう少し多くしてほしい ・コロナが落ち着いたら、口頭フィードバックに戻してほしい	感染症が終息し次第、面談の頻度や活動内容のフィードバックの方法を再検討してまいります

保護者への説明等	⑭	定期的に、保護者に対して面談や、育児に関する助言等の支援が行われているか	28	4	1	0	<ul style="list-style-type: none"> ・必要な時に相談ののってもらえている。 ・コロナ渦で制限がありながらも、SNSで相談できるのもありがたい。 ・定期的な面談を希望する。(1～2か月に1回程) ・話を聞いてもらえるのは嬉しいが、それに対する助言があまりないように感じる。 	定期的な面談を実施できるように、ご家庭へ案内を行ってきます
	⑮	父母の会の活動の支援や、保護者会等の開催等により保護者同士の連携が支援されているか	7	6	16	4	<ul style="list-style-type: none"> ・同じような悩みを持つ親同士でつながれたら嬉しい ・現在の状況では難しいと感じる ・子どもの送迎時に親同士の関わりが持てている 	感染症が終息し次第、ご家庭の交流の機会を設けていくことも前向きに検討していきます
	⑯	子どもや保護者からの相談や申し入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明され、相談や申し入れをした際に迅速かつ適切に対応しているか	33	0	0	0	相談したい旨を伝えると、アドバイスをすぐにもらえている。	今後もご家庭に寄り添った支援ができるように対応していきます
	⑰	子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮がなされているか	32	1	0	0	少しの時間の中でも様々な先生から声をかけてもらえている。	
	⑱	定期的に会報やホームページ等で、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信しているか	32	0	0	1	月初めにおたよりを発行してもらったり、担当する職員の顔写真付きの名札が教室手前に掲示されているため分かりやすい	今後もおたよりやHPを通して教室情報を発信していきます
	⑲	個人情報の取り扱いに十分注意されているか	32	1	0	0		今後も個人情報の取り扱いには細心の注意を払って、管理していきます
非常時等の対応	⑳	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されているか。また、発生を想定した訓練が実施されているか	30	1	1	1	コロナで訓練や保護者を集めての説明は難しいかもしれないが、書面等でももらえると助かる。	今後も契約時にマニュアルの説明を実施していきます
	㉑	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われているか	32			1	年2回の訓練に参加した。	今後も定期的な避難訓練(年2回以上)を実施していきます また、職員間でも避難器具の使用方法の確認、災害発生時の備品の確認を定期的に行っていきます
満足度	㉒	子どもは通所を楽しみにしているか	31	2			<ul style="list-style-type: none"> ・行きたくないと言ったことはない ・幼稚園より楽しみにしている ・教室に入るまで緊張してるようだが、先生に会うと楽しそうにしている ・いつも楽しみにしています ・毎週楽しみにしていて、親も嬉しい ・不得意分野もあるため、どちらともいえない ・全く負担になっていない ・朝「ピコある?」「あるよ」「やったー」と言っている 	嬉しいお言葉をいただくことができ感謝しております 今後も利用児童が楽しく通所できる環境作りを行ってまいります
	㉓	事業所の支援に満足しているか	33	0	0	0	<ul style="list-style-type: none"> ・人数が増えて振替が取りにくくなっているため改善してほしい ・毎回丁寧に対応してもらって助かっている ・とても満足している ・親子で満足している ・子どもの楽しそうな姿を見て、満足している 	ご家庭も満足しているとお声をいただけて感謝しております 今後もご家族に寄り添った支援を提供できるように職員一同精進してまいります

○この「保護者向け児童発達支援評価表 集計（公表）」は、保護者の皆様に「保護者等向け児童発達支援評価表」により事業者の評価を行っていただき、その結果を集計したものです。

事業者における児童発達支援自己評価表（公表）

公表：令和3年3月31日 事業所名：オレンジスクールピコ溝ノ口教室

		チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点を踏まえた改善内容又は改善目標
環境・体制整備	①	利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	②	職員の配置数は適切であるか	○		法令を遵守しています	今後も法令を遵守します
	③	生活空間は、本人にわかりやすく構造化された環境になっているか。また、障害の特性に応じ、事業所の設備等は、バリアフリー化や情報伝達等への配慮が適切になされているか	○		所内はバリアフリー化が完了しています。また、児童数に合わせた教室のスペース確保を行うことができます	今後も障害の特性に応じた環境整備を行っていきます
	④	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか	○		毎日所内の清掃、児童の入れ替え時の換気・消毒の徹底を行っています	今後も感染拡大防止に努めながら継続してまいります
業務改善	⑤	業務改善を進めるためのPDCAサイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか	○		・毎日ミーティングを実施をして、職員間で周知しています ・支援計画更新時に担当者会議を実施し、児童に関わる全ての職員が意見を述べられる機会を設けている	引き続き周知徹底を行ってまいります
	⑥	保護者等向け評価表により、保護者等に対して事業所の評価を実施するとともに、保護者等の意向等を把握し、業務改善に繋げているか	○		事業所の評価を実施し、保護者の意向をお聞きした上で業務改善に取り組んでいます	今後もご家族のご意見を参考に、業務改善に努めてまいります
	⑦	事業所向け自己評価表及び保護者向け評価表の結果を踏まえ、事業所として自己評価を行うとともに、その結果による支援の質の評価及び改善の内容を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	○		オレンジスクールピコのHPに公開しています	今後も公開してまいります
	⑧	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか		○	現在は、事業所・保護者の二者評価です	必要に応じて、外部評価の依頼を検討します
	⑨	職員の資質を向上を行うために、研修の機会を確保しているか	○		定期的に社内研修や外部研修の受講を行っています	研修を通じて、障害特性の専門性を高めてまいります
適切な	⑩	アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	○		活動終了後のフィードバックやご面談、モニタリングを踏まえて支援計画を作成しています	今後もご家族の意向、利用児童のニーズに合わせた支援計画を作成してまいります
	⑪	子どもの適応行動の状況を図るために、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	○		所内で統一したアセスメントシートを使用しています	今後も同様のアセスメントシートを使用してまいります
	⑫	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援（本人支援及び移行支援）」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	○		利用児童に合わせて項目の選択を行いながら支援系内容を設定しています	今後も適切な項目の選択を行い、具体的な支援内容の設定に努めてまいります。
	⑬	児童発達支援計画に沿った支援が行われているか	○		職員間で支援内容の共有を行いながら支援を実施してまいります	今後も担当者会議を通じて、職員間で支援計画の共有を行いながら支援を実施してまいります。

又 援 の 提 供	⑭	活動プログラムの立案をチームで行っているか	○		ミーティング内で活動プログラムを組み立てています	今後も継続していきます
	⑮	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか	○		月案、週案を組み立てながら、固定化しないように努めています	今後も利用児童が楽しく療育を行えるプログラムを組み立てていきます
	⑯	子どもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成しているか	○		児童の発達段階に合わせて個別療育と集団療育を設定しています	個別療育を実施の児童にも、集団活動を行える機会を設けていきます
	⑰	支援開始前には職員間で必ず打合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	○		毎朝ミーティングを実施し、確認を行う機会を設けています	今後も継続していきます
	⑱	支援終了後には、職員間で必ず打合わせをし、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	○		日誌を作成しながら、活動の振り返りを行い、情報共有を行っている	今後も職員間の情報共有を徹底していきます
	⑲	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか	○		HUGのサービス記録に支援の内容を掲載し、保護者様に閲覧してもらっています	今後も継続していきます
	⑳	定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	○		見直しが必要な児童に対して、適宜モニタリングを実施しています	今後も適宜モニタリングを実施しながら、計画の見直しを行っていきます
関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携 関 係 機 関 や 保 護 者 と の 連 携	㉑	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議にその子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	○		今年度はサービス担当者会議に参加していません	要望があった際には、児童の状況に精通している職員が参加していきます
	㉒	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者や関係機関と連携した支援を行っているか	○		幼稚園・保育園訪問や療育センターのソーシャルワーカーさんと電話相談を実施しながら、各関係機関と連携を行っています	今後も継続して連携を行っていきます
	㉓	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携した支援を行っているか	○		現在該当の利用者がいません	重症心身障害児を受け入れが可能な人員確保が困難なため現在受け入れができません
	㉔	(医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等を支援している場合)子どもの主治医や協力医療機関等と連絡体制を整えているか	○		現在該当の利用者がいません	重症心身障害児を受け入れが可能な人員確保が困難なため現在受け入れができません
	㉕	移行支援として、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校(幼稚部)等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		幼稚園・保育園訪問を行って、先生・保護者様・職員での連携を行っています	今後も継続して連携を行っていきます
	㉖	移行支援として、小学校や特別支援学校(小学部)との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	○		現在は実施しておりません	ご希望がある場合は対応いたします
	㉗	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けているか	○		療育センター主催の研修に参加いたしました	今後も積極的に研修等に参加し、連携を行っていきます
	㉘	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害のない子どもと活動する機会があるか	○		現在は実施しておりません	利用時間内で交流機会を設ける時間の確保が難しいため、実施しておりません。
	㉙	(自立支援)協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	○		今年度は協議会の開催がなかったため参加しておりません	開催された場合は、参加いたします

	③⑩	日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	○		活動終了後のフィードバックで支援内容の共有を行っている（現在はWEBでのフィードバックを実施している）	今後も保護者様と支援内容や課題の共有を行っていきます
	③⑪	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対しての家庭支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)の支援を行っているか		○	専門的な家庭支援プログラムは実施していません	感染症の状況が落ち着き次第、家庭支援プログラムの実施を前向きに検討していきます
保護者への説明責任等	③⑫	運営規程、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	○		契約時に口頭で説明を行っております	今後も丁寧な説明に努めてまいります
	③⑬	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか	○		ご面談時に口頭で説明を行い、同意を得たうえで支援を行っています	今後も丁寧な説明に努めてまいります
	③⑭	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	○		ご相談があるご家庭には、面談日を設けてお話を聞く機会を設けている	今後も保護者様に寄り添った支援を行ってまいります
	③⑮	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか		○	現在は実施しておりません	感染症の状況が落ち着き次第、保護者会の実施を前向きに検討してまいります
	③⑯	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	○		口頭や面談時のみならず、SNSを使用した相談の申入れも行っております	今後も継続してまいります
	③⑰	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	○		HPのブログや月1回配布するおたよりにて発信しています	今後も継続してまいります
	③⑱	個人情報の取扱いに十分注意しているか	○		個人情報書類は鍵付き書庫で管理を行っています また、他の関係機関とのやり取りの場合は伏字にしてFAXの送信を行っています	個人情報の管理は細心の注意を払って管理してまいります
	③⑲	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか	○		障害の特性に合わせた配慮を行っています	今後も配慮をしてまいります
非常時	④①	緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	○		所内にそれぞれのマニュアルを策定し、職位間で共有を行っています	契約時にそれぞれのマニュアルに関しての説明を行い、周知してまいります
	④②	非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか	○		年2回、避難訓練を実施しています	今後も定期的な避難訓練（年2回以上）を実施してまいります また、職員間でも避難器具の使用方法的確認、災害発生時の備品の確認を定期的に行ってまいります
	④③	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか	○		アセスメントの際に保護者様に確認した後、アセスメントシートにて情報の共有を行っている	今後も利用児童の状況の共有を行いながら、対応方法の周知してまいります

等 の 対 応	④④	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか		○	食事・おやつ提供は行っていません	今後も提供を行う予定はございません
	④⑤	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか		○	日誌にてヒヤリハットの記録を作成し、職員間で毎日共有を行っています	職員間で周知し、共有を継続していきます
	④⑥	虐待を防止するために、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか		○	所内でマニュアルを作成し、研修を実施しています	今後も虐待防止に努め、職員への研修も継続して実施していきます
	④⑦	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定をし、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援支援計画に記載しているか		○	ご契約時に、身体拘束の内容に関して十分に説明し、了承を得たうえで同意書をいただいています	身体拘束を行う場面が発生しないような支援に努めてまいります しかしやむを得ず身体拘束を行った場合は保護者様への報告・状況の把握のための記録を記載いたします

○この「事業所向け児童発達支援自己評価 集計（公表）」は事業所全体で行った自己評価です。